

平成26年5月28日

## 学校法人溝部学園財務の現状について

平成25年度の学園の収支は、収入面においては学生生徒等納付金、補助金収入が前年度に比べ大幅に増加し、帰属収入は1,307,075千円（前年比155,720千円減少）、消費支出は1,157,539千円（同94,031千円減少）となり、帰属収支差額は149,536千円（同比率11.4%）となりました。

なお前年度（平成24年度）は、特殊要因（保険金による雑収入、雑費）によるプラス要因があったことから、実質の収支状況を前年度と比較すると、今年度の方が43,275千円内容が改善されていることとなります。

### 1. 「収支目標」について

帰属収支差額については毎年黒字を維持し、同比率については最低5%以上を目指しています。なお平成25年度当初予算の同比率は、4.4%としていました。

### 2. 「平成25年度の収支状況」について

（平成25年度決算）

帰属収入	1,307,075千円
消費支出	1,157,539千円
差 額	149,536千円（比率11.4%）

\*今年度は、短大、歯科、高校、幼稚園、保育園の5部門で黒字決算となりました。

（収容定員充足率）

法人全体	81.6%
短期大学	80.4%

### 3. 「平成26年度補正予算」について

（平成26年度補正予算）

帰属収入	1,290,145千円
消費支出	1,179,171千円
差 額	110,974千円（比率8.6%）

(収容定員充足率)

法人全体 83.8%

短期大学 77.8%

\*収入面については、短大、歯科、高校、幼稚園の収容人員を前年対比で、それぞれ12名減、14名減、72名増、13名減と見込んで算出している。

\*一方支出面は、耐震診断費用、耐震補強工事費用等を盛り込んだ結果、帰属収支差額比率は8.6%を見込んでいます。

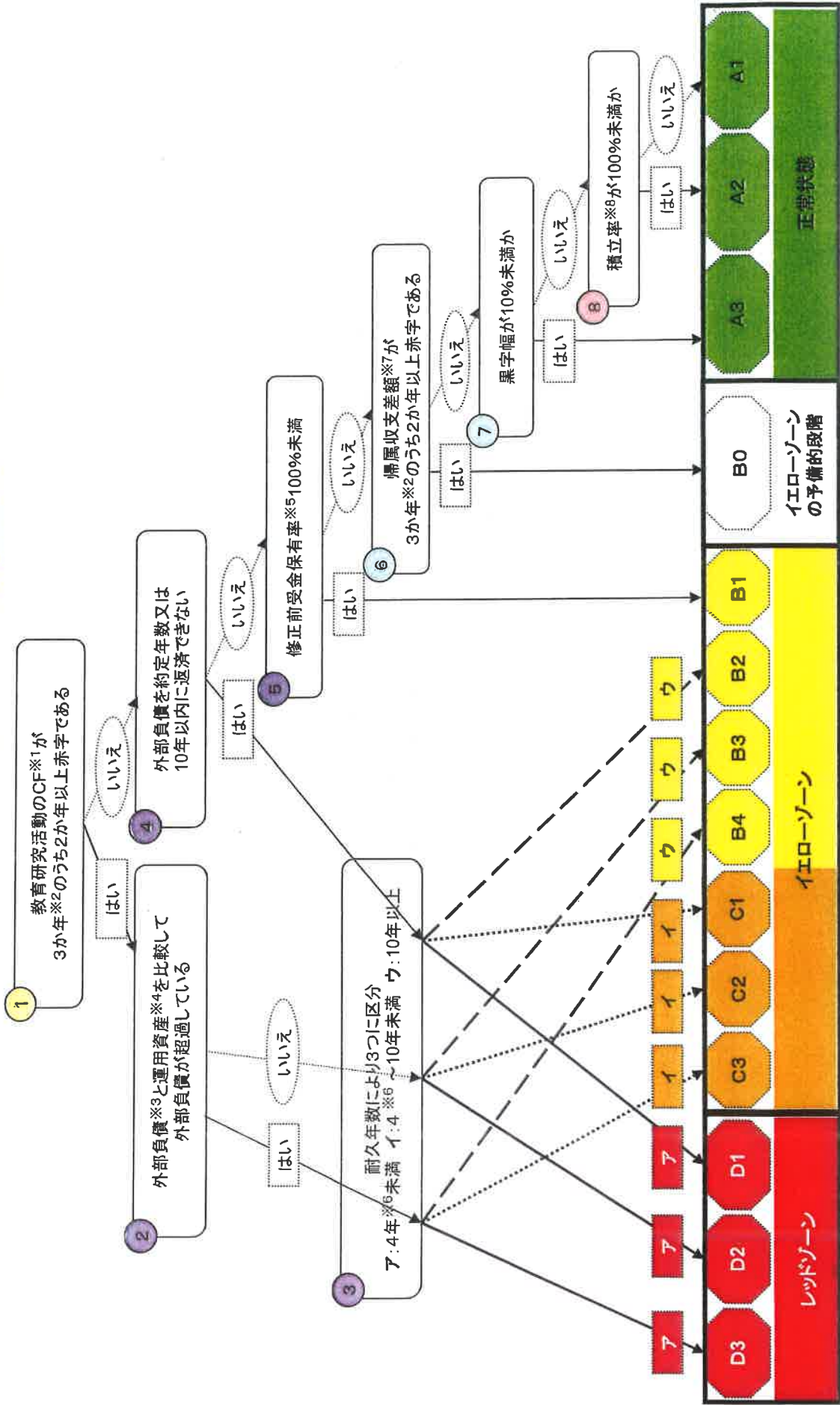
#### 4. 経営判断指標（日本私立学校振興共済事業団）による経営状態の区分について

平成25年度の経営状態の区分については、以下の判定結果よりA2ランクの「正常状態」の区分となりました。

- ① 教育研究活動のCFは、3か年のうち2年以上連続黒字の状態である。
- ② 外部負債は約定年数または10年以内に返済できる。
- ③ 修正前受金保有率の100%以上である。
- ④ 帰属収支差額については、3か年のうち2年以上黒字となっている。
- ⑤ 黒字幅が10%以上である。(11.4%)
- ⑥ 積立率が100%未満である。-----ここが、100%以上であればA1ランクとなる。

以上6項目の指標における判定結果がA2ランクとなり、12ランク中2番目に位置し、「正常状態」にあたる区分となっています。

# 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分(法人全体) 平成25年度版



※1: 教育研究活動のCF=教育研究活動CF収入(学納金収入+前受金収入-前期未前受金+手数料収入+一般寄付金収入+補助金収入(施設除く)+資産運用収入+事業収入+雑収入)-教育研究活動CF支出(人件費支出+教研費支出+管理経費支出+借入金等利息支出)

※2: 3か年とは、一昨年度、昨年度の決算実績及び今年度決算見込みの3か年を指す

※3: 運用資産=現金預金+有価証券+特定預金(資産)

※4: 外部負債=借入金+学校債+未払金

※5: 原則として修業年限を基準に設定する。例えば、大学法人の場合は「4年」、短期大学法人の場合は「2年」となる

※6: 積立率=運用資産÷要積立額(減価償却累計額+退職給付引当金+2号基本金+3号基本金)

※7: 帰属収支差額=帰属収入-消費支出

※8: 修正前受金保有率=運用資産÷前受金